

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・どの学年も体育の学習に対する意欲・関心が高く、運動が好きな児童が多い。
- ・児童同士が考えながら運動をする授業が増え、励ましの声かけ等、豊かなかかわり合いが増えた。
- ・ICT 機器を用いて自分の動きを確かめたり振り返ったりする機会が増えた。

(2) 課題

- ・体育の学習で体を動かす楽しさを児童は感じているが、休み時間等における運動の日常化にはまだまだつながっていない。
- ・保健の学習で学んだことを、日常生活や他教科、委員会活動等で主体的に生かしていく実践力を伸ばしていく必要がある。
- ・ICT 機器を活用して知識・技能を高めるとともに主体性を育み、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をはかる手立てや工夫を引き続き考える必要がある。

2 体力テストの結果分析

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・1年生は男女ともに「反復横跳び」の記録が全国平均を下回っている一方、それ以外の記録は平均または上回っている。 ・2年生は全体的に全国平均を上回っている一方、女子は「反復横跳び」の記録が平均を大きく下回り、敏捷性に課題がある。	・運動する上で、約束事を決めたり、友達と楽しんで取り組んだりすることができている。	・「体育の授業が楽しい」と感じている児童が多く、継続的に関心・意欲を高めることができている。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・3年生は男女ともに「立ち幅跳び」、「ソフトボール投げ」、「握力」の記録が全国平均を上回っている一方、「上体起こし」の記録が伸び悩んでおり、筋持久力、筋力に課題がある。 ・4年生は男女ともに「長座体前屈」、「反復横跳び」、「20mシャトルラン」の記録が伸び悩んでおり、柔軟性、敏捷性、全身持久力に課題がある。 ・保健面では、体を清潔に保ったり、生活環境を整えたりするために、自分がどうすればよいのか気付くことができている。	・運動する上で、約束事を決めたり、友達と協力して取り組んだりすることができている。 ・児童が工夫した動きやルール等を互いに評価し合えるかかわり合いを増やす必要がある。	・「体育の授業が楽しい」と感じている児童が多い。運動に対して、自分なりの課題意識をもたせることで、関心・意欲の向上につながっている。 ・運動経験を含めて技能差により、主体的に取り組む姿勢に差がある。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・5年生は男女ともに「上体起こし」の記録が全国平均を上回っている一方、「長座体前屈」の記録が伸び悩んでおり、柔軟性に課題がある。 ・保健面では、学習したことを日常生活の中で具体的にどう生かしていくのか考えさせる必要がある。	・既存のゲームや与えられたルールに沿って、安全にゲームを進めることができる。 ・自分たちで、場やルールを工夫する力が育つように考える習慣を身に付ける必要がある。	・「体育の授業が楽しい」と感じている児童が多い。授業に友達とのかかわり合いを積極的に取り入れ、主体的に運動に取り組む力が育ってきている。

3 授業改善のポイント（観点別）

① 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・健康に過ごしたり、安全に活動するために大切なことについて話し合ったりしながら、健康の保持増進と体力の向上について理解させる。休み時間に自ら進んで運動できるような活動を紹介することで、体を動かす習慣を身に付けるようにする。 ・タブレット端末を用いて体力テストの結果を確認させ、自分の体力や技能が向上することに喜びを感じさせることができるようにする。 ・中学年につながる動きを身に付けることができるよう、系統性を意識しながら場の設定や運動内容を精選し指導していく。	・体の動かし方を考え、すすんで体を動かすことができる場を選択できるよう指導する。 ・自分の活動をきちんと振り返ることができるように、学習カードを活用させる。 ・友達とかかわることのよさを伝えるために、友達の動きのよさに気付かせる場面を多く設定する。	・運動に親しみ、伸び伸びと体を動かす楽しさや心地良さを味わわせるために、みんなで楽しく学べる活動、多様な動きをつくる運動遊びや鬼遊びを工夫する。 ・児童同士の励ましの声かけを大切にさせ、全員が運動に対する意欲を高くもてるようにさせる。

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・安全に過ごすこと及び体を清潔に保つことや生活環境を整えるために自分のことができることについて気付かせ、実践する意欲をもつようにする。 ・タブレット端末を用いて体力テストの結果を確認させ、自分の体力や技能が向上することに喜びを感じるができるようにする。 ・記録が伸び悩んだ種目に関しては、授業の導入等で、感覚づくりの運動を取り入れ、継続的に体力向上に取り組む。	・友達とよいかかわり合いができるように、集団（チーム）で互いの動きについて話し合う時間を確保する。 ・自分の活動を振り返り、次の「めあて」が立てられるようにするために、学習カードの活用を推進する。	・日常的に運動に取り組む姿につなげるために、楽しさを体感できるように運動内容を精選する。 ・器械・器具を安全に使うことができるよう使い方を指導する。 ・学ぶ意欲をもたせるために、一人一人がめあてをもてるよう学習カードを工夫する。

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・けがの処置の方法や対処の仕方ができるようになるために、実践的な学習を計画する。 ・リーフレットやゲストティーチャーの講話を通して、病気や薬物・アルコール等における正しい知識を習得できるようにする。 ・タブレット端末を用いて体力テストの結果を確認させ、自分の体力や技能が向上することに喜びを感じることができるようになる。 ・タブレット端末を用いて、視覚的に分かりやすい技のコツやポイントを示し、目標をもって取り組めるようにする。	・ペアやグループでの活動を取り入れ、教え合いや学び合いを行いながら学習を進められる場面を多く設定する。 ・友達の動きの良さを見付けることができるようポイントを絞って指導する。 ・自分の課題を明確に意識させるために、タブレット端末を用いた学習カードを使って、めあてを立てたり自己評価による振り返りをさせたりする場を1単位時間の終わりに設定する。	・誰もが運動を楽しみ、達成感を味わうことができるように、実態に合ったルールや運動計画・運動内容を考え実施していく。 ・体を動かす楽しさを伝え、日常化につながるような授業を考える。 ・教具の正しい使い方を理解し、自分たちで準備・片づけ等をすすんで行うよう指導していく。 ・主体的に活動できるように学習カードを工夫し、一人一人が適切な自己の課題を見付け、意欲や技能を高められるよう指導していく。